

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年3月6日

協議会名: 静岡県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等		②事業概要					③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況										⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
事業者名	No	系統名	起点	経過地	終点	減価償却 補助		主な利用(維持)目的	実施状況	評 価	輸送量				収支率		広域利用率		分析	
											R7 計画	R7 実績 a*b	平均乗 車密度 a	運行 回数 b	R6 実績	R7 実績	R6 実績	R7 実績		
山梨交通	1	富士宮駅・イオン・ 星山台 ・蒲原病院線	富士宮駅	イオン・星山台	蒲原病院		JR富士川駅、JR富士宮駅、蒲原病院及びイオン モール富士宮への利用者が多く、通勤、通学、通 院、買物等の手段として利用	計画通り事業は 適切に実施され た。	D	16.4	19.5	1.9	10.3	33.5	33.0	26.6	26.6	R8.1～ 退出 利用者に減小及び運行経費の高騰等により、運行継続が困難とし退出。沿線市 ではデマンドタクシーの増便や代替交通の実証運行により対応していく。		
秋葉バス サービス	2	秋葉線	袋井駅前	三倉、天竜高校 春野校舎	気多	○	<地域公共交通計画の 策定> ○令和6年3月策定に策 定した県全域を範囲とし た計画において、地域間 幹線系統の事業評価に 関する指標(県独自の評 価基準におけるA評価の 割合)を設定。 <広域的な視点での協 働の徹底> ○地域間幹線系統に関 する情報提供の依頼 ○県独自の評価基準によ る評価結果の活用 ・県独自の評価基準によ る評価結果を各市町の地 域公共交通会議において 報告するとともに、各事業 者、市町の取組について 協議。	JR袋井駅から森町を經由して浜松市天竜区春野 までを結ぶ唯一の系統。沿線には高校、中学校、 幼稚園が多数あり、主に通学手段とされているほ か、袋井市民病院への通院や袋井駅への移動手 段として利用	計画通り事業は 適切に実施され た。	C	15.3	19.2	3.0	6.4	20.5	24.7	19.4	28.1	輸送量は目標(計画)達 成。収支率、広域利用と もに昨年度から増加。	R7.3ダイヤ改定を実施。 輸送量減少の要因となった道路崩落工事が完了しR7.1月から通常運行。「秋葉 線再編プロジェクト((共創モデル実証運行事業)」などにより沿線市町及び事業 者と連携して利用促進を図る。 輸送量が20人を下回る系統や評価が芳しくない系統では、人流データ等を活用 した改善提案を実施予定。
	3	秋葉中遠線	袋井駅前	袋井市民病院	遠州森町	○		JR袋井駅から森町中心部を結ぶ主要系統。沿線 学校への通学、袋井市民病院への通院、イオン 袋井店への買物等の手段として利用	計画通り事業は 適切に実施され た。	A	57.3	59.5	3.2	18.6	44.9	38.8	14.1	18.3	輸送量は目標(計画)達 成。収支率は昨年度から 減小。広域利用は増加。	R7. 3ダイヤ改定を実施。 引き続き沿線市町と協力して、利用促進策に取り組む。
	4	秋葉中遠線	大東支所	横須賀車庫前	袋井駅南口	○		掛川市南部からJR袋井駅を結ぶ系統で、沿線の 高校や小学校への通学での利用が主。また、掛 川市南部及び袋井市南部からJR袋井駅への主 系統であるため、JR東海道線を利用する通勤手 段としても利用	計画通り事業は 適切に実施され た。	A	22.1	24.6	2.9	8.5	40.1	34.9	44.9	35.1	輸送量は目標(計画)達 成。収支率、広域利用と もに昨年度から減小。	R7. 3ダイヤ改定を実施。 引き続き沿線市町と協力して、利用促進策に取り組む。
	5	秋葉中遠線	横須賀車庫前	新岡崎	袋井駅南口	○		掛川市南部からJR袋井駅を結ぶ系統で、沿線の 高校や小学校への通学での利用が主。また、掛 川市南部及び袋井市南部からJR袋井駅への主 系統であるため、JR東海道線を利用する通勤手 段としても利用	計画通り事業は 適切に実施され た。	B	56.0	63.4	2.7	23.5	41.6	36.1	47.1	43.0	輸送量は目標(計画)達 成。収支率、広域利用と もに昨年度から減小。	R7. 3ダイヤ改定を実施。 引き続き沿線市町と協力して、利用促進策に取り組む。
	6	浜北医大三方原聖隷線	三方原聖隷	染地台三丁目	浜北駅	○		浜北区役所から聖隷三方原病院まで東西に走る 系統。経由地として遠州鉄道小松駅、浜松医科大 学、浜松工業高校等があり、通勤・通学、通院手 段として利用	概ね計画通り事 業は適切に実施 された。	B	23.1	21.7	3.3	6.6	33.5	34.2	45.8	47.6	輸送量は目標(計画)未 達成。収支率、広域利用 ともに昨年度から増加。	R5.7.24運賃改定を実施。 R7.11.1運賃改定を実施。 引き続き沿線市と協力して、利用促進策に取り組む。
遠州鉄道	7	磐田市立病院福田線	磐田市立病院	磐田駅	豊浜郵便局	○	<更なる利用促進策> ○引き続き、バス事業者 や市町と連携した利用促 進策として小学生を対象 にしたバス無料デーを実 施 ○人流データ等を活用し た公共交通施策の提案を 地域に還元	旧福田町から磐田駅を經由して磐田市立病院へ と至る系統。通勤・通学・通院手段として利用	概ね計画通り事 業は適切に実施 された。	B	25.5	24.9	4.3	5.8	50.1	48.8	28.3	28.4	輸送量は目標(計画)未 達成。収支率は昨年度 から減小。広域利用は横 ばい。	R5.7.24運賃改定を実施。 R7.11.1運賃改定を実施。 引き続き沿線市と協力して、利用促進策に取り組む。
	8	中ノ町磐田線	浜松駅	中ノ町	磐田営業所	○	浜松駅から旧豊田町、磐田駅を經由し、磐田市東 部に至る系統。通勤・通学手段として利用	概ね計画通り事 業は適切に実施 された。	A	78.6	81.4	5.9	13.8	60.7	60.6	11.3	10.9	輸送量は目標(計画)達 成。収支率は昨年度から 横ばい。広域利用は減 小。	R5.7.24運賃改定を実施。 R7.11.1運賃改定を実施。 引き続き沿線市と協力して、利用促進策に取り組む。	
	9	秋葉線	春野車庫	西鹿島駅	厚生会	○	旧春野町から旧天竜市中心部、遠州鉄道西鹿島 駅を經由して病院及び高齢者・障害者福祉施設を 結ぶ系統。通勤・通学・天竜病院等への通院手段 として利用	概ね計画通り事 業は適切に実施 された。	D	20.4	19.1	2.9	6.6	35.9	27.9	33.0	31.0	輸送量は目標(計画)未 達成。収支率、広域利用 ともに昨年度から減小。 R5.7.24運賃改定を実施。 R7.11.1運賃改定を実施。 通学利用者が減少。R6は秋葉線(袋井駅前～気多)の区間運休により輸送量が 振り分けられたため一時的に増加。市と運行事業者で協議し今後のあり方を検討 する。輸送量が20人を下回る系統や評価が芳しくない系統では、人流データ 等を活用した改善提案を実施予定。		
	10	磐田天竜線	山東	新開	磐田駅	○	旧天竜市中心部と磐田市中心部を結ぶ通勤・通 学手段として利用	概ね計画通り事 業は実施され た。	B	26.4	24.9	5.1	4.9	55.4	52.1	71.1	72.6	輸送量は目標(計画)達 成。収支率は昨年度から 減小。広域利用は増加。	R5.7.24運賃改定を実施。 R7.11.1運賃改定を実施。 引き続き沿線市と協力して、利用促進策に取り組む。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年3月6日

協議会名: 静岡県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等		②事業概要					③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況										⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)	
事業者名	No	系統名	起点	経過地	終点	減価償却 補助		主な利用(維持)目的	実施状況	評 価	輸送量				収支率		広域利用率		分析		
											R7 計画	R7 実績 a*b	平均乗 車密度 a	運行 回数 b	R6 実績	R7 実績	R6 実績	R7 実績			
遠州鉄道	11	磐田天竜線	山東	ららぽーと磐田	磐田駅	○	同上	B	旧天竜市中心部と大型商業施設を經由して磐田市中心部を結ぶ通勤・通学・買い物等の手段として利用	概ね計画通り事業は適切に実施された。	B	57.2	55.3	3.9	14.2	44.1	40.8	32.8	30.2	輸送量は目標(計画)未達成。収支率、広域利用ともに昨年度から減小。	R5.7.24運賃改定を実施。 R7.11.1運賃改定を実施。 引き続き沿線市と協力して、利用促進策に取り組む。
	12	掛塚さなる台線	浜松駅	掛塚	豊浜郵便局	○		B	旧福田町から旧竜洋町を經由し、浜松駅に至る系統で通勤・通学手段として利用	概ね計画通り事業は適切に実施された。	A	18.4	22.1	5.4	4.1	57.1	59.2	35.9	40.4	輸送量は目標(計画)達成。収支率、広域利用ともに昨年度から増加。	R5.7.24運賃改定を実施。 R7.11.1運賃改定を実施。 引き続き沿線市と協力して、利用促進策に取り組む。
	13	内野台線	浜松駅	上島北	内野台車庫	○		B	旧浜北市及び浜松市北部の団地から浜松市中心部への通勤、通学手段として利用	概ね計画通り事業は適切に実施された。	B	39.2	39.6	5.0	7.7	65.3	59.5	42.8	43.6	輸送量は目標(計画)達成。収支率は昨年度から減小。広域利用は増加。	R5.7.24運賃改定を実施。 R7.11.1運賃改定を実施。 引き続き沿線市と協力して、利用促進策に取り組む。
	14	内野台線	浜松駅	内野台車庫	サンストリート浜北	○		A	旧浜北市の大型商業施設から旧浜北市及び浜松市北部の団地を經由して浜松市中心部に至る路線。沿線住民の日中の買い物等の手段として利用	計画通り事業は実施された。	A	44.7	38.0	4.5	8.4	49.1	50.9	39.4	42.5	輸送量は目標(計画)未達成。収支率、広域利用ともに昨年度から増加。	R5.7.24運賃改定を実施。 R7.11.1運賃改定を実施。 引き続き沿線市と協力して、利用促進策に取り組む。
	15	磐田市立病院福田線	磐田駅南口	福田車庫	豊浜郵便局	○		B	旧福田町とJR磐田駅を結ぶ地域住民の通勤・通学及び日中の買い物等の手段として利用	概ね計画通り事業は実施された。	D	19.7	17.6	2.8	6.8	41.8	36.7	53.6	48.6	輸送量は目標(計画)未達成。収支率、広域利用ともに昨年度から減小。	R5.7.24運賃改定を実施。 R7.11.1運賃改定を実施。 市内での通学利用者が減少傾向。市と運行事業者で実態分析を行い、今後のあり方を検討する。輸送量が20人を下回る系統や評価が芳しくない系統では、人流データ等を活用した改善提案を実施予定。
	16	引佐線	浜松駅	浜松湖北高校	気賀駅前	○		B	旧細江町から旧引佐町を經由し浜松駅に至る系統。通勤・通学・通院等の手段として利用	概ね計画通り事業は実施された。	A	66.2	66.5	7.0	9.5	74.8	73.0	30.3	29.6	輸送量は目標(計画)達成。収支率、広域利用ともに昨年度から減小。	R5.7.24運賃改定を実施。 R7.11.1運賃改定を実施。 引き続き沿線市と協力して、利用促進策に取り組む。
	17	萩丘都田線	浜松駅	上島西	染地台三丁目	○		A	旧浜北市の新興住宅地から浜松駅に至る系統であり、通勤・通学や市役所への移動手段として利用	計画通り事業は適切に実施された。	B	27.5	27.5	5.5	5.0	72.2	67.5	21.6	18.6	輸送量は目標(計画)達成。収支率、広域利用ともに昨年度から減小。	R5.7.24運賃改定を実施。 R7.11.1運賃改定を実施。 引き続き沿線市と協力して、利用促進策に取り組む。
	18	大塚ひとみヶ丘線	浜松駅	湖東高校 ・ ひとみが丘東	山崎	○		B	旧雄踏町から浜松駅に至る系統であり通勤・通学や通勤手段として利用	概ね計画通り事業は適切に実施された。	B	84.9	83.4	5.6	14.9	75.7	65.3	2.7	1.5	輸送量は目標(計画)未達成。収支率、広域利用ともに昨年度から減小。	R5.7.24運賃改定を実施。 R7.11.1運賃改定を実施。 引き続き沿線市と協力して、利用促進策に取り組む。
	19	気賀三ヶ日線	浜松駅	気賀四ツ角	三ヶ日車庫	○		B	旧三ヶ日町と浜松駅に至る系統であり、通勤や通学、通院手段として利用	概ね計画通り事業は適切に実施された。	B	57.6	63.6	7.4	8.6	66.7	62.4	28.9	27.7	輸送量は目標(計画)達成。収支率、広域利用ともに昨年度から減小。	R5.7.24運賃改定を実施。 R7.11.1運賃改定を実施。 引き続き沿線市と協力して、利用促進策に取り組む。
	20	奥山線	浜松駅	追分	奥山	○		B	旧引佐町奥山地区から浜松駅に至る系統であり、沿線の総合病院への通院や高校への通学手段として利用	概ね計画通り事業は適切に実施された。	B	86.7	104.3	7.1	14.7	71.4	67.4	36.0	40.0	輸送量は目標(計画)達成。収支率は昨年度から減小。広域利用は増加。	R5.7.24運賃改定を実施。 R7.11.1運賃改定を実施。 引き続き沿線市と協力して、利用促進策に取り組む。
	21	掛塚さなる台線	浜松駅	芳川	掛塚	○	A	磐田市(旧竜洋町)から浜松駅に至る系統であり、通学や通勤手段として利用	計画通り事業は適切に実施された。	A	125.4	137.7	5.6	24.6	83.0	85.2	26.3	25.1	輸送量は目標(計画)達成。収支率は昨年度から増加。広域利用は減小。	R5.7.24運賃改定を実施。 R7.11.1運賃改定を実施。 引き続き沿線市と協力して、利用促進策に取り組む。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年3月6日

協議会名: 静岡県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等		②事業概要					③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況										⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)	
事業者名	No	系統名	起点	経過地	終点	減価償却 補助		主な利用(維持)目的	実施状況	評 価	輸送量				収支率		広域利用率		分析		
											R7 計画	R7 実績 a*b	平均乗 車密度 a	運行 回数 b	R6 実績	R7 実績	R6 実績	R7 実績			
しずてつ ジャストライン	22	三保草薙線	折戸車庫	草薙団地・県立 大学前	折戸車庫		同上	A	三保・草薙地区の住民の静岡市立清水病院への通院、草薙駅及び静岡鉄道狐ヶ崎駅まで通勤利用、県立大学への通学手段として利用	計画通り事業は適切に実施された。	A	31.4	41.6	4.9	8.5	45.4	50.1	7.6	6.2	輸送量は目標(計画)達成。収支率は昨年度から増加。広域利用は減少。	R6.1.16減便 R6.10.1運賃改定を実施。 引き続き沿線市と利用促進策に取り組む。
	23	五十海大住線	清里	西焼津駅	焼津市立病院			A	藤枝市及び焼津市住民による焼津市立総合病院までの通院、藤枝市民による西焼津駅までの通勤利用、静岡福祉大学までの通学手段として利用	計画通り事業は適切に実施された。	A	22.8	29.9	3.4	8.8	36.3	44.4	42.9	43.6	輸送量は目標(計画)達成。収支率、広域利用ともに昨年度から増加。	R6.10.1運賃改定を実施。 引き続き沿線市と利用促進策に取り組む。
	24	焼津岡部線	焼津駅前	—	岡部営業所			A	旧岡部町からJR焼津駅を結ぶ系統であり、通勤、通学手段として利用	計画通り事業は適切に実施された。	A	44.7	57.2	3.2	17.9	41.0	48.4	62.4	62.1	輸送量は目標(計画)達成。収支率は昨年度から増加。広域利用は横ばい。	R6.10.1運賃改定を実施。 引き続き沿線市と利用促進策に取り組む。
	25	藤枝吉永線	藤枝市立総合 病院	高洲小学校	飯渕			A	焼津市及び藤枝市住民による藤枝市立総合病院までの通院、藤枝駅を利用した通勤、大学・高校までの通学手段として利用	計画通り事業は適切に実施された。	B	38.5	44.9	4.2	10.7	58.2	49.2	32.0	32.3	輸送量は目標(計画)達成。収支率は昨年度から減少。広域利用は横ばい。	R6.10.1運賃改定を実施。 引き続き沿線市と利用促進策に取り組む。
	26	島田静波線	島田駅前	—	静波海岸入口			A	榛原総合病院までの通院、島田駅を利用した通勤、高校への通学手段として利用	計画通り事業は適切に実施された。	D	17.9	19.2	3.1	6.2	39.3	33.2	60.4	59.3	輸送量は目標(計画)達成。収支率、広域利用ともに昨年度から減少。	R6.1.16減便 R6.10.1運賃改定を実施。 特に学生の利用者の減小幅が大きく、今後は、沿線市町及び運行事業者にて学生が通学に利用しやすい運行時間等の見直しを検討する等、系統の維持に努める。輸送量が20人を下回る系統や評価が芳しくない系統では、人流データ等を活用した改善提案を実施予定。
	27	島田静波線	島田市立総合 医療センター	島田駅前	静波海岸入口			A	榛原総合病院、島田市立総合医療センターまでの通院、島田駅を利用した通勤、高校への通学手段として利用	計画通り事業は適切に実施された。	B	21.0	20.4	3.0	6.8	33.8	31.7	52.4	50.6	輸送量は目標(計画)未達成。収支率、広域利用ともに昨年度から減少。	R6.1.16減便 R6.10.1運賃改定を実施。 引き続き沿線市と利用促進策に取り組む。
	28	藤枝相良線	藤枝駅南口	静波海岸入口	相良営業所			A	榛原総合病院までの通院、藤枝駅を利用した通勤、沿線の高校への通学手段として利用	計画通り事業は適切に実施された。	B	37.7	49.9	4.5	11.1	45.8	45.4	76.3	75.9	輸送量は目標(計画)達成。収支率は昨年度と横ばい。広域利用は減少。	R6.1.16減便 R6.10.1運賃改定を実施。 引き続き沿線市と利用促進策に取り組む。
	29	菊川浜岡線	菊川駅前	菊川市立総合 病院	浜岡営業所			A	菊川市立総合病院までの通院、菊川駅を利用した通勤、沿線の高校までの通学手段として利用	計画通り事業は適切に実施された。	B	30.7	45.0	6.0	7.5	61.0	63.7	37.4	37.1	輸送量は目標(計画)達成。収支率は昨年度から増加。広域利用はやや減少。	R6.10.1運賃改定を実施。 引き続き沿線市と利用促進策に取り組む。
	30	掛川大東浜岡線	掛川駅前	井崎	浜岡営業所			A	御前崎市(旧浜岡町)から、掛川駅を利用した通勤、沿線の大学・高校への通学手段として利用	計画通り事業は適切に実施された。	B	27.7	37.7	3.4	11.1	38.9	35.9	67.3	68.4	輸送量は目標(計画)達成。収支率は昨年度から減少。広域利用は増加。	R6.10.1運賃改定を実施。 引き続き沿線市と利用促進策に取り組む。
	31	掛川大東浜岡線	中東遠総合医療センター	掛川駅前・井崎	浜岡営業所			A	御前崎市(旧浜岡町)から、掛川駅を利用した通勤、沿線の大学・高校への通学のほか、中遠総合医療センターへの通院手段として利用	計画通り事業は適切に実施された。	A	31.0	32.3	5.3	6.1	50.3	52.7	67.4	66.9	輸送量は目標(計画)達成。収支率は昨年度から増加。広域利用は減少。	R6.10.1運賃改定を実施。 引き続き沿線市と利用促進策に取り組む。
	32	掛川大東浜岡線	掛川駅前	井崎	大東支所			A	旧大東町地域から掛川駅を利用した通勤、沿線の大学・高校への通学手段として利用	計画通り事業は適切に実施された。	C	12.8	11.3	2.9	3.9	19.5	33.3	75.9	75.9	輸送量は目標(計画)未達成。 強風被害による乗務員休憩所の破損により別系統に運行回数を振り分けていたため輸送量が減少。 R8運行から主系統に再編統合し、主系統により運行しており、引き続き沿線市と利用促進策に取り組む(再編後は輸送量が増加する見込み)。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年3月6日

協議会名: 静岡県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等		②事業概要					③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況								⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)			
事業者名	No	系統名	起点	経過地	終点	減価償却 補助		主な利用(維持)目的	実施状況	評 価	輸送量				収支率		広域利用率		分析		
											R7 計画	R7 実績 a*b	平均乗 車密度 a	運行 回数 b	R6 実績	R7 実績	R6 実績			R7 実績	
富士急 モビリティ	33	御殿場線	御殿場駅	裾野駅入口	三島駅	○	同上	A	JR御殿場線と並行し、三島・裾野・御殿場の主要駅を結ぶ系統。沿線の通勤・通学・通院や買い物手段として利用	計画通り事業は適切に実施された。	B	26.5	18.5	3.7	5.0	62.6	70.8	40.0	78.2	輸送量は目標(計画)未達成。収支率、広域利用ともに昨年度から増加。	R5.10.1運賃改定を実施。引き続き沿線市と利用促進策に取り組む。輸送量が20人を下回る系統や評価が芳しくない系統では、人流データ等を活用した改善提案を実施予定。
	34	駿河小山線	御殿場駅	一色	駿河小山駅	○		A	御殿場駅と駿河小山駅を結び、通勤・通学、日中の買い物手段として利用	計画通り事業は適切に実施された。	B	26.7	27.2	3.4	8.0	55.9	52.9	57.3	64.7	輸送量は目標(計画)達成。収支率は昨年度から悪化。広域利用は増加。	R5.10.1運賃改定を実施。引き続き沿線市町と利用促進策に取り組む。
	35	十里木線	御殿場駅	須山	十里木	○		A	御殿場駅と裾野市十里木地区を結び、通勤・通学・買い物手段として利用	計画通り事業は適切に実施された。	B	19.7	24.3	4.2	5.8	50.3	47.1	63.0	57.7	輸送量は目標(計画)達成。収支率、広域利用ともに昨年度から減小。	R5.10.1運賃改定を実施。引き続き沿線市と利用促進策に取り組む。
	36	河口湖線	河口湖駅	旭日丘	御殿場駅	○		A	御殿場駅と山梨県河口湖を結ぶ広域系統であり、御殿場市及び小山町と山梨県富士吉田市との間の通勤・通学・通院手段として利用	計画通り事業は適切に実施された。	A	21.0	28.5	9.5	3.0	82.8	79.6	80.0	79.2	輸送量は目標(計画)達成。収支率、広域利用ともに昨年度から減小。	R5.7.1運賃改定を実施。引き続き沿線市と利用促進策に取り組む。
富士急バス	37	河口湖線	河口湖駅	膳棚・旭日丘	御殿場駅			A	御殿場駅と山梨県河口湖を結ぶ広域系統であり、御殿場市及び小山町と山梨県富士吉田市との間の通勤・通学・通院手段として利用	計画通り事業は適切に実施された。	A	74.0	81.0	8.1	10.0	79.5	73.8	89.2	89.9	輸送量は目標(計画)達成。収支率は昨年度から悪化。広域利用は横ばい。	R5.7.1運賃改定を実施。引き続き沿線市と利用促進策に取り組む。
	38	新富士線	富士山駅	精進湖富士宮駅	新富士駅			A	静岡県と山梨県を結ぶ広域系統であり、地域における一次交通として、越県通学者や県内においては富士宮市と富士市を結ぶ生活の足として利用。	計画通り事業は適切に実施された。	A	17.7	27.9	9.3	3.0	71.8	69.1	59.5	60.0	輸送量は目標(計画)達成。収支率は昨年度から悪化。広域利用は横ばい。	R5.7.1運賃改定を実施。引き続き沿線市と利用促進策に取り組む。
富士急 静岡バス	39	曾比奈線	西富士宮駅	赤坂	曾比奈	○		A	沿線住民の通学や富士脳研病院への通院手段として利用	計画通り事業は適切に実施された。	B	13.7	15.6	3.2	4.9	68.0	66.1	71.0	75.5	輸送量は目標(計画)達成。収支率は昨年度から減小。広域利用は増加。	R5.10.1運賃改定を実施。引き続き沿線市と利用促進策に取り組む。輸送量が20人を下回る系統や評価が芳しくない系統では、人流データ等を活用した改善提案を実施予定。
	40	大淵線	富士駅	吉原中央駅・中野	富士宮駅	○		A	吉原中央駅(バスターミナル)や富士宮駅を利用した通勤・通学手段として利用	計画通り事業は適切に実施された。	B	14.5	15.5	5.0	3.1	83.2	79.9	53.5	52.4	輸送量は目標(計画)達成。収支率、広域利用ともに昨年度から減小。	R5.10.1運賃改定を実施。沿線市で利便増進計画を策定(R5.2)R8運行期間中に、経路及びダイヤの見直しを行う予定 輸送量が20人を下回る系統や評価が芳しくない系統では、人流データ等を活用した改善提案を実施予定。
	41	大月線	吉原中央駅	峰畑	富士宮駅	○		A	富士宮市と富士市を結ぶ系統であり、通学や買い物手段として利用	計画通り事業は適切に実施された。	A	75.2	81.1	4.1	19.8	84.7	82.2	54.7	71.3	輸送量は目標(計画)達成。収支率は昨年度から減小。広域利用は増加。	R5.10.1運賃改定を実施。引き続き沿線市と利用促進策に取り組む。
	42	大月線	新富士駅	吉原中央駅・富士宮駅	富士山世界遺産センター	○		A	富士宮市と富士市を結ぶ系統であり、圏内の通学・通勤のほか、新富士駅(新幹線)での乗り換えとして利用	計画通り事業は適切に実施された。	B	15.3	15.6	5.2	3.0	92.3	89.6	50.0	53.7	輸送量は目標(計画)達成。収支率は昨年度から減小、広域利用は増加。	R5.10.1運賃改定を実施。引き続き沿線市と利用促進策に取り組む。輸送量が20人を下回る系統や評価が芳しくない系統では、人流データ等を活用した改善提案を実施予定。
富士急 シティバス	43	駿河平線	三島駅	長泉なめり駅がんセンター	駿河平	○		A	駿河平地区から三島駅に至る系統であり、通勤・通学・通院手段として利用	計画通り事業は実施された。	B	17.9	22.6	5.8	3.9	74.3	76.0	47.3	48.2	輸送量は目標(計画)達成。収支率、広域利用ともに昨年度から増加。	R5.10.1運賃改定を実施。引き続き沿線市町と利用促進策に取り組む。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年3月6日

協議会名: 静岡県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等		②事業概要					③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況								⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)			
事業者名	No	系統名	起点	経過地	終点	減価償却 補助		主な利用(維持)目的	実施状況	評 価	輸送量				収支率		広域利用率		分析		
											R7 計画	R7 実績 a*b	平均乗 車密度 a	運行 回数 b	R6 実績	R7 実績	R6 実績			R7 実績	
富士急 シティバス	44	須山線	三島駅	御宿・呼子団地 入口	須山	○	同上	A	裾野市(須山地区)から三島駅を利用した通勤・通 学、日中は高齢者の通院等の手段として利用	計画通り事業は 実施された。	B	18.1	26.4	5.4	4.9	52.8	53.0	49.2	46.9	輸送量は目標(計画)達 成。収支率は昨年度から 増加。広域利用は減少。	R5.10.1運賃改定を実施。 引き続き沿線市町と利用促進策に取り組む。
	45	原線	沼津駅	片浜駅・原駅	東田子の浦駅	○		A	沼津市内、桃里地区、一本松地区からの小学校 への通学、沼津駅、片浜駅、原駅、東田子の浦駅 を利用した通勤・通学手段として利用	計画通り事業は 実施された。	B	29.6	24.3	3.2	7.6	54.7	37.9	9.9	7.9	輸送量は目標(計画)未 達成。収支率、広域利用 ともに昨年度から減少。	R4.4.1沼津市で利便増進計画を策定、路線再編やフィーダー接続強化を実施 R5.10.1運賃改定を実施。 引き続き沿線市と利用促進策に取り組む。
	46	桜堤線	三島駅	三島駅北口 ・ 桜堤	裾野駅	○		A	三島駅から裾野駅に至る系統で通勤、通学、買い 物等の手段として利用	計画通り事業は 実施された。	B	41.2	53.5	5.2	10.3	81.1	69.4	93.9	89.9	輸送量は目標(計画)達 成。収支率、広域利用と もに昨年度から減少。	R5.10.1運賃改定を実施。 引き続き沿線市町と利用促進策に取り組む。
	47	がんセンター線	沼津駅	マーレ沼津工場 前	がんセンター	○		A	沼津駅から静岡がんセンターに至る系統でがん センターへの通院、沿線の学校への通学や沼津 駅方面への通勤手段として利用	計画通り事業は 適切に実施され た。	A	18.7	21.8	5.6	3.9	81.9	73.7	23.9	20.0	輸送量は目標(計画)達 成。収支率、広域利用と もに昨年度から減少。	R5.10.1運賃改定を実施。 引き続き沿線市町と利用促進策に取り組む。
	48	がんセンター線	三島駅	長泉なめり駅	がんセンター	○		A	三島駅から静岡がんセンターに至る系統でがん センターへの通院、沿線の学校への通学や沼津 駅方面への通勤手段として利用	計画通り事業は 実施された。	A	33.1	39.2	5.1	7.7	67.2	81.2	53.6	46.9	輸送量は目標(計画)達 成。収支率は昨年度から 増加。広域利用は減少。	R5.10.1運賃改定を実施。 引き続き沿線市町と利用促進策に取り組む。
伊豆箱根バス	49	沼津大岡三島線	沼津駅	市立高校前・上 石田	三島駅	○	同上	A	沼津駅と三島駅を結ぶ系統で沿線の高校や病院 への通学、通院手段として利用	計画通り事業は 適切に実施され た。	A	116.6	137.8	6.5	21.2	84.8	95.1	62.1	59.2	輸送量は目標(計画)達 成。収支率は昨年度から 増加。広域利用は減少。	R4.10.1運賃改定を実施。 引き続き沿線市町と利用促進策に取り組む。
	50	長岡伊豆三津シー パラダイス線	長岡駅	温泉駅・宗徳寺 前	伊豆三津シー パラダイス	○		A	伊豆箱根鉄道長岡駅から沼津市内浦・三津地区 に至る系統で沼津市から長岡駅方面への通学や 病院への通院手段として利用。伊豆三津シーパラ ダイスへの観光利用も見られる。	計画通り事業は 適切に実施され た。	A	70.8	69.2	4.3	16.1	64.6	59.8	26.6	44.0	輸送量は目標(計画)未 達成。収支率は昨年度 から減少。広域利用は増 加。	R4.10.1運賃改定を実施。 引き続き沿線市と利用促進策に取り組む。
	51	沼津静浦長岡線	沼津駅	長塚温泉湯本	長岡駅	○		A	沼津駅から伊豆箱根鉄道長岡駅に至る系統で、 沿線の小中学校や病院などへの通学・通勤、通 院手段として利用	計画通り事業は 適切に実施され た。	B	135.7	135.1	6.2	21.8	74.3	70.7	15.0	17.2	輸送量は目標(計画)未 達成。収支率は昨年度 から減少。広域利用は増 加。	R4.10.1運賃改定を実施。 引き続き沿線市と利用促進策に取り組む。
東海バス	52	石廊崎線	下田駅	休暇村	石廊崎オーシャ ンパーク	○	同上	A	伊豆急下田駅と石廊崎を結ぶ系統で、南伊豆町 からの通学・通院手段として利用	計画通り事業は 適切に実施され た。	A	42.0	60.0	4.0	15.0	51.6	61.7	49.2	52.0	輸送量は目標(計画)達 成。収支率、広域利用と もに昨年度から増加。	R5.12.1運賃改定を実施。 引き続き沿線市町と利用促進策に取り組む。
	53	天城峠線	修善寺駅	天城峠	河津駅	○		A	伊豆急行河津駅から旧天城湯ヶ島町を経由して 修善寺駅に至る系統で、通学、通院、買い物の足 として利用	計画通り事業は 適切に実施され た。	B	33.0	48.0	4.8	10.0	55.6	64.1	40.8	49.1	輸送量は目標(計画)達 成。収支率広域利用とも に昨年度から増加。	R5.12.1運賃改定を実施。 引き続き沿線市町と利用促進策に取り組む。
	54	戸田線	修善寺駅	虹の郷	戸田	○		A	伊豆箱根鉄道修善寺駅と鉄道のない戸田地区を 結ぶ系統であり、通勤・通学・通院手段として利用	計画通り事業は 適切に実施され た。	B	22.4	25.9	3.7	7.0	80.4	52.4	34.1	32.6	輸送量は目標(計画)達 成。収支率は広域利用と もに昨年度から減少。	R5.12.1運賃改定を実施。 引き続き沿線市と利用促進策に取り組む。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年3月6日

協議会名: 静岡県地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等		②事業概要					③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況								⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)			
事業者名	No	系統名	起点	経過地	終点	減価償却 補助		主な利用(維持)目的	実施状況	評 価	輸送量				収支率		広域利用率		分析		
											R7 計画	R7 実績 a*b	平均乗 車密度 a	運行 回数 b	R6 実績	R7 実績	R6 実績			R7 実績	
東海バス	55	西海岸線	修善寺駅	土肥温泉	松崎	○	同上	A	伊豆箱根鉄道修善寺駅から西伊豆方面に至る系統で、沿線の高校へや修善寺駅方面の通学、通院手段として利用。西伊豆地区は鉄道がないエリアであり、観光利用も見られる。	計画通り事業は適切に実施された。	A	44.8	59.8	4.4	13.6	57.3	54.6	71.7	79.4	輸送量は目標(計画)達成。収支率は昨年度から減小。広域利用は増加。	R5.12.1運賃改定を実施。引き続き沿線市町と利用促進策に取り組む。
	56	バサラ峠線	下田駅	バサラ峠	堂ヶ島	○		A	伊豆急下田駅から西伊豆方面に至る系統で、沿線の高校へや下田駅方面の通学、通院手段として利用。西伊豆地区は鉄道がないエリアであり、観光利用も見られる。	計画通り事業は適切に実施された。	B	36.6	49.2	4.0	12.3	59.2	57.0	58.8	61.3	輸送量は目標(計画)達成。収支率は昨年度から減小。広域利用は増加。	R5.12.1運賃改定を実施。引き続き沿線市町と利用促進策に取り組む。
	57	バサラ峠線	下田駅	バサラ峠	宇久須	○		A	伊豆急下田駅から西伊豆方面に至る系統で、沿線の高校へや下田駅方面の通学、通院手段として利用。西伊豆地区は鉄道がないエリアであり、観光利用も見られる。	計画通り事業は適切に実施された。	B	29.9	19.7	4.6	4.3	77.6	60.4	76.1	56.9	輸送量は目標(計画)未達成。収支率、広域利用ともに減小。	R5.12.1運賃改定を実施。引き続き沿線市町と利用促進策に取り組む。輸送量が20人を下回る系統や評価が芳しくない系統では、人流データ等を活用した改善提案を実施予定。
	58	下賀茂線	下田駅	—	下賀茂	○		A	伊豆急下田駅から銭瓶峠をとり南伊豆町の中心で役場のある下賀茂までを結ぶ系統で、通学、通院、買い物等で利用。下田駅から下賀茂まで鉄道のないエリアであり、観光利用も見られる。	計画通り事業は適切に実施された。	A	18.6	20.7	2.1	9.9	43.6	37.0	53.7	32.1	輸送量は目標(計画)達成。収支率、広域利用ともに昨年度から減小。	R5.12.1運賃改定を実施。引き続き沿線市町と利用促進策に取り組む。
	59	柿田線	沼津駅	柿田	三島駅	○		A	鉄道駅のない清水町から、地域の中心駅である「沼津駅」や新幹線も停車する「三島駅」のどちらにもアクセスしている系統で、町民の通勤、通学、通院、買い物等で利用。市町を跨ぐ利用が多い。	計画通り事業は適切に実施された。	A	60.0	81.0	5.4	15.0	93.3	100.1	81.1	79.8	輸送量は目標(計画)達成。収支率は昨年度から増加。広域利用は減小。	R5.12.1運賃改定を実施。引き続き沿線市町と利用促進策に取り組む。